

## 第4次福岡市食育推進計画検討部会の開催状況

### 1 部会委員

1	学識経験者	学校法人中村学園顧問	◎ 甲斐諭
2	関係団体	一般社団法人福岡市歯科医師会会長	神田晋爾
3		福岡市農業協同組合代表理事組合長	鬼木晴人
4		福岡市食生活改善推進員協議会会長	○ 下川京子
5		福岡市立中学校校長会	川上 忍
6		一般社団法人福岡市保育協会代表	藤田 和子
7	地域代表	福岡市公民館館長会副会長	角田 真理子

◎部会長 ○副部会長

### 2 開催日及び検討内容

- 1回目 令和3年7月20日（火）
- ・ 部会長・副部会長の選任
  - ・ 第3次福岡市食育推進計画の評価について
  - ・ 次期福岡市食育推進計画（骨子案）について
- 2回目 令和3年8月6日（金）※
- ・ 第4次福岡市食育推進計画（案）について①
- 3回目 令和3年9月8日（水）※
- ・ 第4次福岡市食育推進計画（案）について②
  - ・ 第4次計画具体的な目標値（案）の設定について
- 4回目 令和3年9月28日（火）※
- ・ 第4次福岡市食育推進計画（案）について
- 5回目 令和3年11月9日（火）
- ・ 第4次福岡市食育推進計画（案）について

※2回目、3回目、4回目は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催

### 3 第4次計画案策定にあたってのおもな検討内容

(部会における主なご意見)

- ◎ 食育は「子どもが学ぶこと」であり「自分には関係ない」と感じている大人が多いように感じる。
  - ⇒ライフステージの区分を国の計画に合わせ見直し、食育を、市民一人ひとりが自分事として捉えやすいよう、また、生涯にわたり取り組むべきこととして理解しやすいよう課題を整理する
- ◎ 新型コロナウイルスの影響で今までのように、共食を進めることが難しい。
  - ⇒未だ新型コロナウイルスの終息が見通せない中、短期的には地域等における共食を積極的に推進することは困難な状況であるものの、食育における「共食」の重要性については、目標ごとの目指す姿として明記し、計画期間を通し推進する
  - ⇒ICTやデジタルツールを積極的に活用し、新しい生活様式の中でも食を通じたコミュニケーションを図る方法を普及啓発する
- ◎ 環境に配慮した食品、食生活とは、どのようなものかわかりにくい。
  - ⇒目指す姿の推進したいこととして、「過剰包装ではなくごみが少ない食品を選ぶこと」「計画的な買い物をすること」など具体的に示すと共に、巻末に用語の説明を記載する
- ◎ 情報の発信と拡散が大切である。
  - ⇒取組みの視点として「(Ⅱ) 一人ひとりの実践につながる訴求力ある情報発信と環境づくり」を明記。また「(Ⅲ) 新たな日常やデジタル化への対応」とし、デジタルツールやインターネットを積極的に活用し、各関係団体とも連携し、効果的な情報発信の取組みを推進する

(事務局の提案)

- 基本理念及び基本目標について
  - ⇒基本的には、第3次計画の内容を継承するが、食品ロス削減や環境に配慮した食品選択など、環境への関心が高まっていることを踏まえ、基本理念に「食育の推進を通して、持続可能な社会の実現に寄与する」の文言を追加し、基本目標に「(Ⅳ) 環境に優しい食生活を送りましょう」の項目を新たに設定する
- 食に関わる社会的課題への対応について
  - ⇒「人生100年時代に向けた健康寿命の延伸」「SDGs(持続可能な開発目標)達成への貢献」「ウェルビーイング向上」の現実に向け、食育を着実に推進することを明示する